

学校だより1号

平成28年4月8日発行

きずな

北九州市立折尾西小学校
校長 二宮 利之



平成28年度スタート

新しい1年が始まりました。1つ上の学年への進級、おめでとうございます。

始業式で体育館に整列している子どもたちの様子に、緊張感や期待感を見取ることができました。どの子からも、「新学期だ。がんばるぞ。」という意欲が感じられました。

さて、今年度は「**尊重**」をキーワードにして、学校づくりに取り組みます。教師が子ども一人一人の思いや考えを深く理解し尊重する、子ども同士が自分と他者の違いを尊重し合う、「学校」「家庭」「地域」がそれぞれの立場を大切に思いやり、よりよい教育を行っていくなど、様々な意味を含ませました。

子どもが、ねうちのあるもの・こと、自分の周りの友達を大切にする気持ち、行動にあふれた安心して生活できる学校をつくり、一人一人の健やかな成長を支援していきたいと思えます。

折尾西小の目指す子ども像

進んで学び、よく考える子	(知)
明るく素直で、仲良くする子	(徳)
体をきたえ、進んで働く子	(体)

保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、教職員が一丸となって教育活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

別れと出会い

<転出された先生方>

お世話になりました。お元気で・・・

吉田理恵教頭	(光貞小副校長へ)
有田佐登子先生	(槻田小へ)
児玉奈穂美先生	(則松小へ)
嶋田優子先生	(鷹の巣幼稚園へ)
中山卓海先生	(大原小へ)
藤木紀子先生	(楠橋小へ)
中村有理先生	(萩原小へ)



※ 前田聡一先生は、本校に在籍ですが、福岡教育大学附属小倉小学校に一年間の研修員として勤務されます。

<転入して来られた先生方>

ようこそ 折尾西小へ

小川博子教頭	(日明小より)
柳澤尚樹先生	(青葉小より)
永田憲一先生	(塔野小より)
村上八津代先生	(貫小より)
高倉 梓先生	(若松中央小より)
奥田真由美先生	(熊西小より)
三吉伸一先生	(塔野小より)
田中桃子先生	(筒井小より)
赤根美優先生	(新卒)
関戸真子先生	(新卒)



第50回 入学式

4月12日(火)は、第50回入学式です。ピカピカの1年生73名が本校へ入学してきます。全校あげて温かくお迎えしたいと思います。

かわいいかわいい1年生を、教職員、在校生みんなで見守り、一人一人を大切にして、やさしく・かしこく・たくましく育てていきます。

「あおぞら学級」開設について

特別支援教育の視点から、本校に「あおぞら学級」が開設しました。

本校は、落ち着いた雰囲気の中、子ども同士が学び合い、高め合う姿が多く見られ、一人一人が力を伸ばしています。

そのような中でも、「大勢の中では、いろんなことを考えたり、思いついたりして、落ち着けない」「自分の気持ちを言葉にしてうまく伝えることが苦手で誤解されて苦しい思いをすることが多い」などの心の苦しさを抱えながら頑張っている子どももいました。

昔は、そのような子どもは、じっと我慢をし続けて小学校・中学校と苦しさを抱えたまま、大人へと行って行きました。

現在は、そのような子どもの苦しさを克服するための手厚い教育を、小学校段階から行っていくことの大切さが認識され、実行に移されています。

本校も、この趣旨にしたがって、今年度から開設しました。在籍する子どもは、教師・在籍希望のある保護者・専門諸機関が長い時間かけて相談した上で、在籍の決定を行っています。

あおぞら学級で学ぶ内容は、本来自分が在籍する学年の通常の学習内容とまったく同じです。得意・不得意の部分をはっきりとさせて、その子に応じた学習道具・ペースで、個別に学習する場面を設けていく点が一つ目の特徴です。

それに加えて、心が苦しくなったり、先の見通しがもてず不安になったときなどに、自分の力でそれらを解決する力を付けるための「自立活動」という学習にも取り組むことが二つ目の特徴です。

また、あおぞら学級での学習時間も多いのですが、「交流」という形で、多くの時間を、今までどおり、本来の在籍する学年と一緒に学びます。

学級名のとおり、在籍する子どもたちが、いつも心穏やかに、気持ち晴れやかに学ぶことができるように、地域・保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。